

研修会報告

平成 30 年 2 月 5 日

文責：生理検査部門 佐藤 貴光

研修会テーマ「デモンストレーションで学ぶ脳死判定」

開催日時平成 30 年 2 月 3 日（土）12：45～16：30

仙台厚生病院 管理棟 1 階 熊谷・海老名ホール

司会： 仙台市立病院 佐藤 貴光

・「医療用クラウド型脳波解析システム NATESAS」

日本光電

・「症例報告～救命救急医療における意識障害患者の脳波～」

1. δ -coma 東北大学病院 小澤 鹿子

2. α -coma 東北大学病院 平田 理絵

3. burst suppression 東北大学病院 板橋 泉

座長 東北大学病院 青木 桜子

・「聴性脳幹反応 ABR 検査の基礎と実際」～ライブ～

東北大学病院 浅黄 優

座長 仙台市立病院 佐藤 貴光

・「脳死判定デモンストレーション」

東北大学病院 浅黄 優

東北大学大学院医学研究科てんかん学分野 神 一敬

座長 仙台厚生病院 平 真由美

生涯教育点数 専門 20 点、会員参加者 66 名、非会員参加者 3 名

内容

今回の生理検査研修会は「デモンストレーションで学ぶ脳死判定」をテーマに、脳死判定の施行規則や脳波検査の手順を中心とした内容であった。はじめに日本光電より「脳波解析システム NATESAS」について説明頂いた。脳活動を可視化し、直感的に評価・診断を行うことが可能となるとのことであった。症例報告では意識障害患者の脳波について提示して頂きディスカッションを行った。コメンテーターの先生より、脳波判読と記録時の要点に付き分かり易く解説して頂いた。続いて「聴性脳幹反応 ABR 検査の基礎と実際」では各波形の起源や影響因子等についての基礎的な内容から解説して頂いた。また、Auditory Neuropathy や後耳介反応等、実際の波形を提示して頂き勉強になる内容であった。「脳死判定デモンストレーション」では法的脳死判定マニュアルに則り、脳波検査や脳幹反射の消失などの項目につきデモンストレーションを交えて説明頂いた。実際に東北大学病院で使用しているフローチャートを使用し、タイムスケジュールから要点まで非常に勉強になる内容であった。

今回の研修会は他県からの参加者も多く、熱心に聴講されていた。今後も宮城県臨床検査

技師会員が積極的に参加し、楽しく学べる生理検査研修会を開催していきたい。